

社内情報に関する生成 AI の検索プラットフォーム 「ID&E DNav」を構築

ID&E ホールディングス株式会社（本社：東京都千代田区、代表執行役社長：新屋浩明）は、グループ全体の生産性の向上や高度化、新規事業の創出、顧客ニーズに合わせたサービスの提供を目的とし、生成 AI を活用したグループ内の情報に関する検索プラットフォーム「ID&E DNav」（ID&E Data Navigator）を開発・構築しました。

当プラットフォームはセキュアな環境下で、ID&E グループ内の様々な情報の検索を可能とするものです。その第一弾として主要会社の規程集検索チャットボットをリリースしました。今後は ICT に関する Q&A をはじめ、各種のグループ内の情報を当プラットフォームに登録し、業務での積極的な利活用を推進していきます。

●生成 AI の検索プラットフォーム「ID&E DNav」

ID&E DNav は Microsoft が提供する Azure OpenAI Service、Azure AI Search や LangChain（生成 AI システム開発を容易にするライブラリ）などを利用し、会社独自のナレッジや資料を Azure 上のデータベースに登録した上で、生成 AI を用いて検索・抽出（RAG：Retrieval-Augmented Generation）することを可能としています。

●情報セキュリティと拡張性

情報セキュリティを確保するため、Azure 上に構築した生成 AI プラットフォームと社内ネットワークを SD-WAN（セキュアな広域ネットワークを提供する技術）で接続することにより、インターネットを経由しないクローズドな環境を実現しています。Azure 上の環境は、SD-WAN へ接続する基幹ネットワーク（ハブ）と、生成 AI 基盤本体が動作する AI 基盤ネットワーク（スポーク）に分割することで、各種の生成 AI システムが増加した場合にも拡張が容易な構成としています。

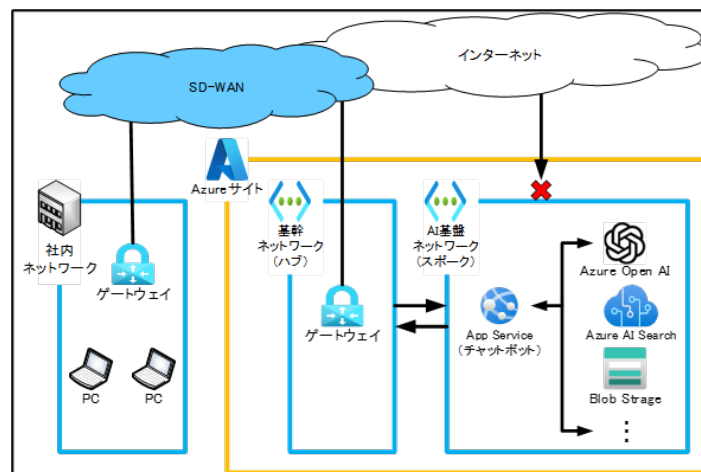


図 1 情報セキュリティを考慮したネットワーク構成図

●「ID&E DNav」の特徴

生成 AI を利活用する上の課題として、学習不足や学習データの偏り、プロンプトの曖昧さ等により、誤回答（ハルシネーション）が起きることがあげられます。ID&E DNav では、全文検索、ベクトル検索（文章を数値に変換することで類似性を考慮して検索する技術）、セマンティック検索（単語や文脈を理解し情報を検索する技術）を組み合わせ

わせたセマンティックハイブリッド検索を採用し、大量データの分割（チャンク分割）およびそのオーバーラップの調整を行うことで回答精度を高めているのが特徴です。

今後も「ID&E DNav」を進化・展開させるために、グループ内の各種文書を学習させるとともに、インターネットからの最新情報も融合した回答を生成するよう、改善してまいります。また、GraphRAG（グラフ理論を用いて AI の情報検索と生成を強化する技術）など新しい技術を検証し、さらなる回答精度の向上を図るとともに、異なる種類のデータや情報源を組み合わせて理解し、処理する技術であるマルチモーダルへの対応として画像や音声情報も処理できる環境も整備する予定です。

ID&E グループではデジタル・トランスフォーメーションを積極的に推進し、今後もグループ全体の生産性を革新することで、新たな価値を創造してまいります。

*Microsoft Azure は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

—お問合せ先—

ID&E ホールディングス株式会社 経営管理本部 コーポレートコミュニケーション室

TEL : 03-5276-2454 Email : c-com@n-koei.co.jp ホームページ : <https://www.id-and-e-hd.co.jp/>